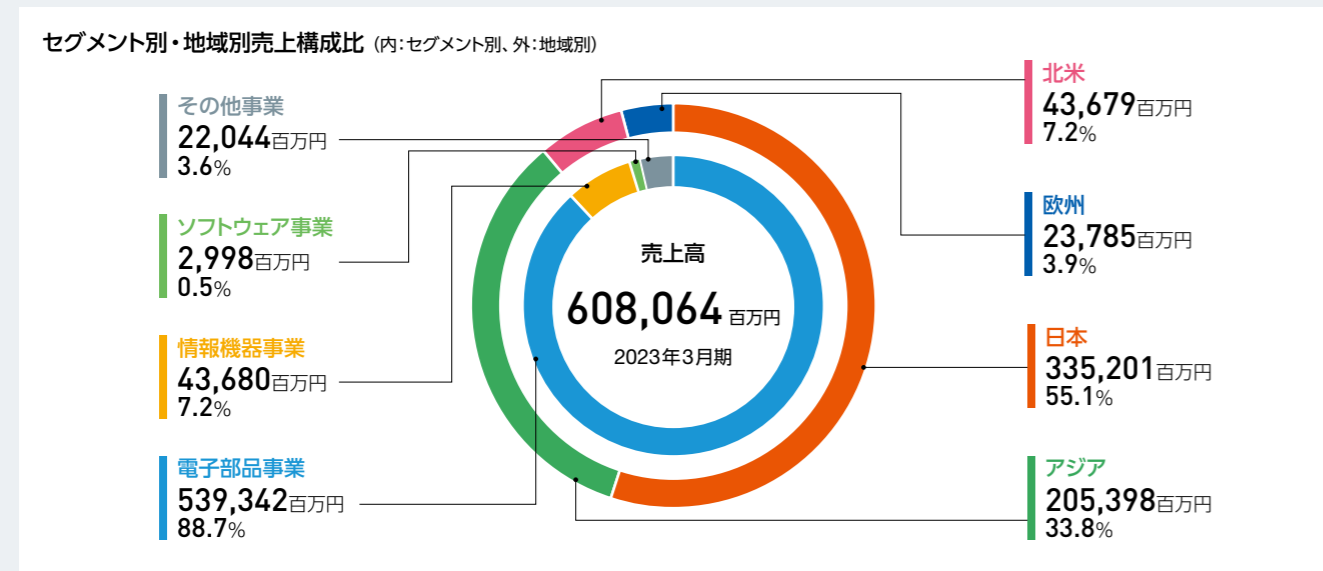
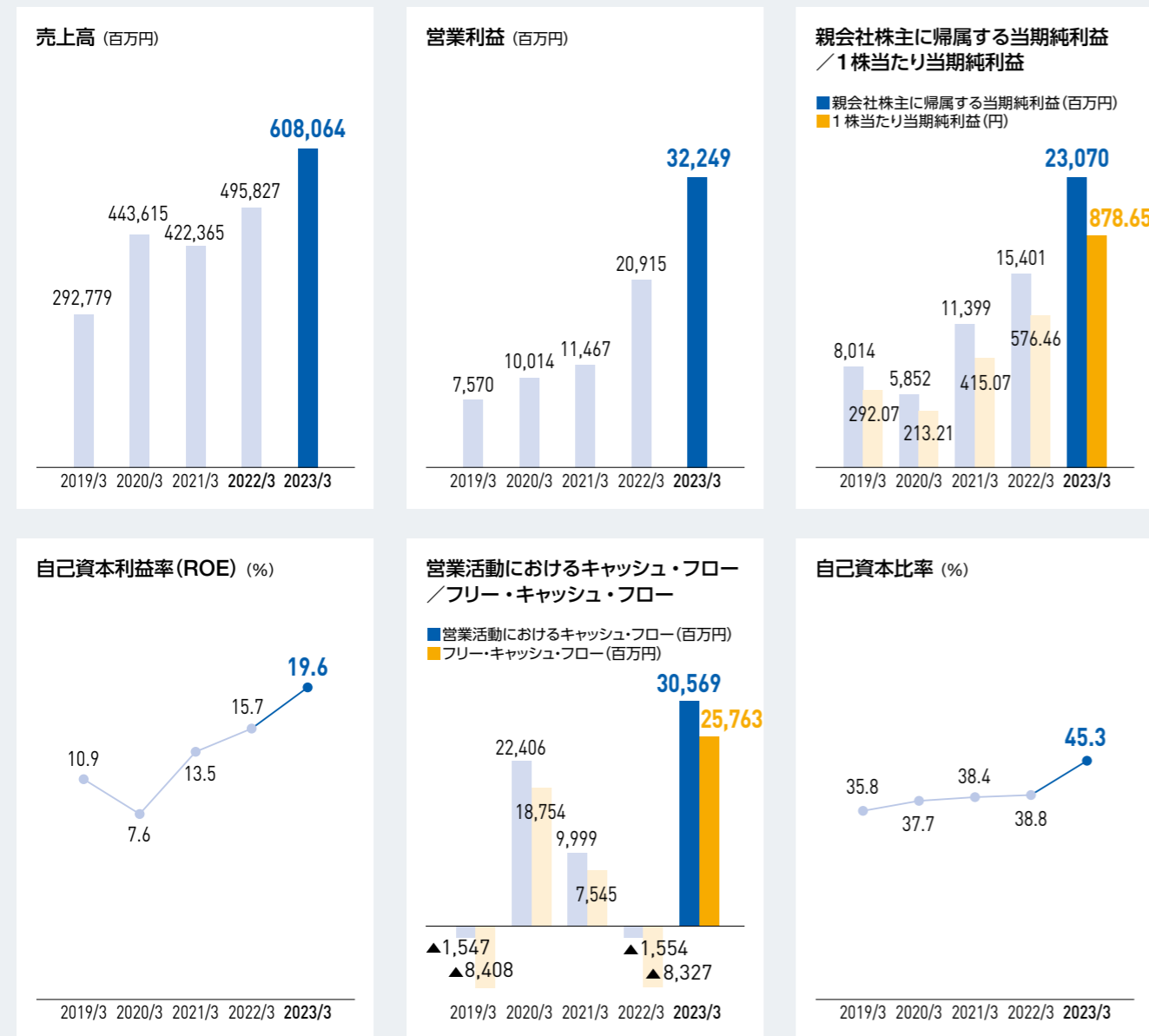
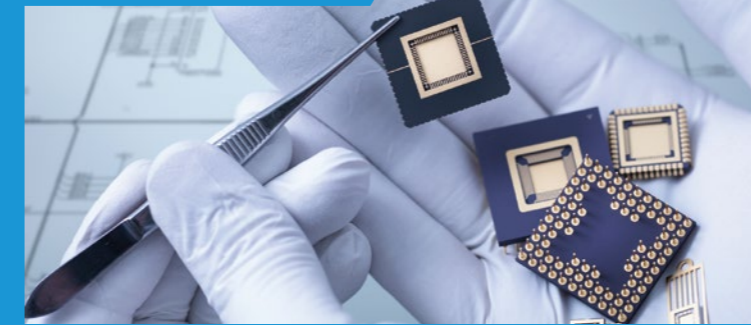


財務ハイライト

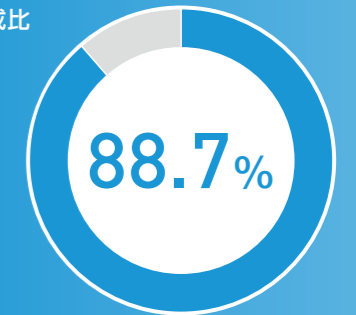


セグメント別概況

電子部品事業



売上高構成比



事業内容

半導体、一般電子部品、EMSなどの開発・製造・販売など

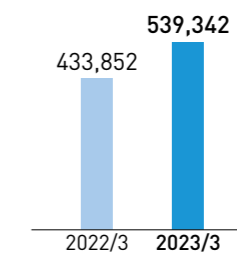
2023年3月期概況

部品販売ビジネスは、半導体や電子部品の需給状況が年度後半から改善されたことを背景に、広範な業界への販売が高水準で推移しました。供給不足が続く一部製品については、販売物量を確保するとともに代替製品の提案などに取り組みました。EMSビジネスは、車載関連向けの販売が大きく伸ばしたほか、医療機器関連、事務機器関連向けも堅調に推移したことに加え、期初からの円安進行も円ベースでの収益を押し上げました。これらの結果、売上高は5,393億42百万円(前年同期比24.3%増)、セグメント利益は283億14百万円(前年同期比56.4%増)となりました。

売上高

24.3%増

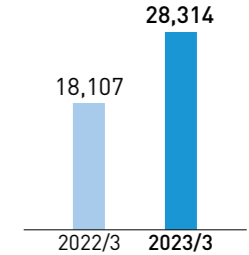
(百万円)



セグメント利益

56.4%増

(百万円)



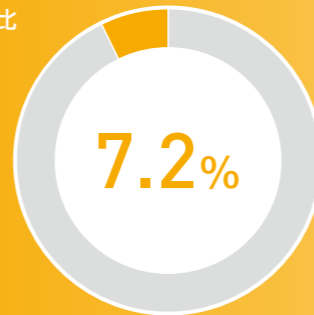
事業概況とリスク・機会

事業概況	機会	リスク
<p>部品販売ビジネス</p> <p>部品販売ビジネスは、逼迫が続いていた半導体や電子部品の需給状況が年度後半から改善されてきたことを背景に、広範な業界への販売が高水準で推移しました。一方、供給不足が続く車載関連向けの一部製品については、独立系商社としての調達力の強みを活かして販売物量を確保するとともに代替製品の提案などにグループの総力をあげて取り組みました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「EV(電気自動車)化」や「CASE」に代表される自動車関連技術の高度化 「5G(第5世代移動通信システム)」、「IoT」、「AI」などICT関連技術の高機能化による需要拡大 車載向けなど一部の半導体・電子部品の需給逼迫の継続 <p>* Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric の略</p>	<ul style="list-style-type: none"> ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格など諸物価の高騰 政策金利引き上げ策に伴う金融システム不安 販売先、仕入れ先における商流変更に伴う商権喪失 コロナ禍での大幅な需要増からの反動 景気後退リスクを背景とした顧客の在庫調整の影響
<p>EMSビジネス</p> <p>EMSビジネスは、車載関連向けの販売が大きく伸ばしたほか、医療機器関連、事務機器関連向けなど主要顧客向けの販売も堅調に推移しました。また、期初からの円安進行も円ベースでの収益を押し上げました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済活動の正常化進捗や半導体不足、サプライチェーンの混乱緩和 半導体、電子部品供給不足や長納期化の解消による、産業分野からの需要増加 ファブレス企業の増加、アウトソーシング需要の高まり 自動化、効率化ニーズの高まり 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外における人財不足 地震や洪水などの自然災害や感染症拡大 その他政治的・経済的な外部環境要因による工場の操業停止

情報機器事業



売上高構成比



事業内容

パソコン、PC 周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品など完成品の販売など

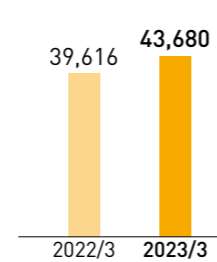
2023年3月期概況

法人向けや教育機関向けパソコン販売は、買い替えサイクル長期化により台数ベースでは伸び悩みましたが、高価格帯製品の販売が寄与し金額ベースでは好調に推移しました。PC 周辺製品の販売も引き続き堅調に推移しました。またLED 設置ビジネスは、資材不足で遅延していた全国規模の大型案件の施工が順調に進捗し、事業収益に大きく寄与しました。これらの結果、売上高は436億80百万円(前年同期比10.3%増)、セグメント利益は24億49百万円(前年同期比17.4%増)となりました。

売上高

10.3%増

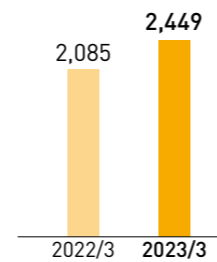
(百万円)



セグメント利益

17.4%増

(百万円)



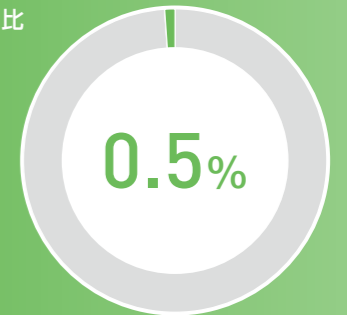
事業概況とリスク・機会

	事業概況	機会	リスク
情報機器事業	法人向けや教育機関向けパソコン販売が、台数ベースでは伸び悩んだものの、高価格帯製品の販売が寄与し金額ベースでは好調に推移しました。またセキュリティソフトなど、PC 周辺製品の販売も堅調に推移しました。LED 設置ビジネスは、全国規模の大型案件の施工が順調に進捗し、事業収益に大きく寄与しました。	<ul style="list-style-type: none"> ICTの進展による情報関連機器ニーズの堅調な拡大 高等教育機関のセキュリティ関連ニーズの拡大 新規商材の発掘 	<ul style="list-style-type: none"> 製品供給不足による販売機会損失 商流変更による、商権や商品調達ルートの喪失 価格競争や新規参入業者の増加による競争激化

ソフトウェア事業



売上高構成比



事業内容

CG 映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など

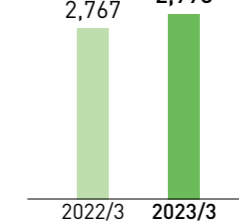
2023年3月期概況

スマホ向けゲーム制作やCG制作において大型案件や新規案件の受注が回復するとともに、コスト削減が進捗し事業採算は改善しました。これらの結果、売上高は29億98百万円(前年同期比8.3%増)、セグメント利益は2億86百万円(前年同期はセグメント損失26百万円)となりました。

売上高

8.3%増

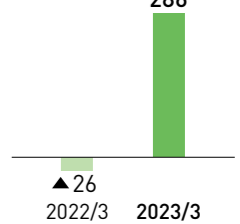
(百万円)



セグメント利益

▲26

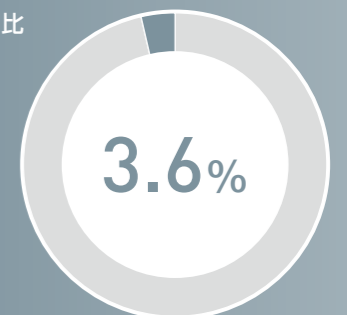
(百万円)



その他事業



売上高構成比



事業内容

エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など

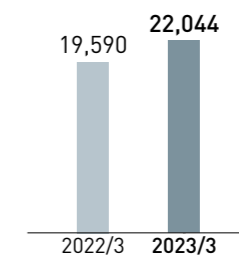
2023年3月期概況

当事業では、PC 製品ならびにPC 周辺機器のリサイクルビジネスが好調に推移しました。また、コロナ禍における行動制限の緩和をうけ、アミューズメント業界向けアーケードゲーム機器や、ゴルフ用品の販売も回復しました。これらの結果、売上高は220億44百万円(前年同期比12.5%増)、セグメント利益は11億1百万円(前年同期比76.0%増)となりました。

売上高

12.5%増

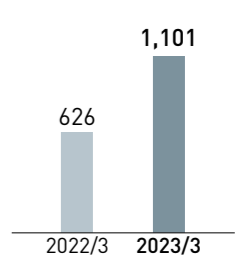
(百万円)



セグメント利益

76.0%増

(百万円)

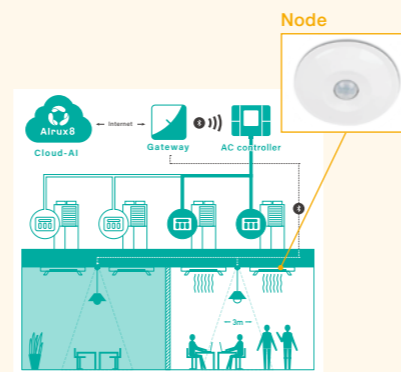


TOPICS

AIによる電力コスト削減システムで電力使用量削減を実現

当社は株式会社トラース・オン・プロダクトが開発したAI(人工知能)技術による電力コスト削減システム「Alrux8(エーアイルックス エイト)」を2023年1月より日本における代理店第1号として販売開始しました。「Alrux8」は、人感センサーを組み込んだ「Node(ノード)」と呼ばれる集中コントローラー装置を通して、施設内の混雑状況や不在状況等のデータを取得し、AIで解析します。そして状況に応じて、施設内に設置されたIoT照明設備や施設内空調設備と通信し、各照明のエリアグループごとに時間帯、営業稼働日、季節により照明の明るさおよび空調設備の設定温度を自動制御します。

電気料金をはじめとしたエネルギー価格の高騰が続く我が国において、エネルギーコスト削減は業種を問わずすべての企業にとって喫緊の課題であり、併せて世界的なSDGs推進の潮流のなかで重要性が高まるカーボンニュートラル実現に向けて、電力使用量を削減する「Alrux8」は、まさに画期的なソリューションです。当社は、これらの社会課題を解決する「Alrux8」の販売を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。



Alrux8の仕組み